



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

テレビは全然報じない、暮らしを守る日本共産党の活動紹介

物価高騰から暮らしを守る緊急提案

1、消費税廃止めざし、緊急に5%に引き下げて年12万円の減税を。インボイスは廃止。

消費税を5%に減税すれば、平均的サラリーマン世帯で年12万円の減税になります。財源は国債に頼らず、大企業・富裕層への行き過ぎた減税や税の優遇をやめ、軍事費の無駄の削減、政党助成金の廃止で20兆円を超える財源が確保できます。

2、物価高に負けない賃上げを、物価にふさわしく上げる年金に

賃金が物価高に追いついていません。実質賃金は1996年から年額74万円も減っています。この間、大企業は過去最高の利益を更新していますが、それが賃金に回っていません。

アベノミクス以降、大企業の内部留保は200兆

参議院選挙近づくと、比例代表は日本共産党へ。



メーデーの先頭に立って行進する遠藤れい子

円も増え、539兆円(23年度末)に膨れ上がりました。

「大企業の内部留保を賃上げへ回せ、中小企業の下請単価引き上げへ回せ」と、労働者と国民の運動を大きく広げましょう。

最低賃金をすみやかに時給1500円(月額手取り20万円程度)に上げ、1700円をめざします。

3、物価高騰による医療、介護の経営危機・提供基盤の崩壊を食い止め、ケア労働者の賃

上げをはかります

「このままでは、ある日突然、病院がなくなります」「地域医療は崩壊寸前」――日本病院会など病院団体の訴えに、衝撃が広がっています。病院の6割が赤字に陥り、診療科や入院患者の受け入れを減らす、救急医療が廃止されるなどの事態が全国に広がっています。ボーナスカットや賃下げで、医療従事者の

“大量離職”も起きています。日本の医療は崩壊の一手前の緊急事態です。緊急に国費を投入して、医療崩壊を止め、医療従事者の賃上げを行います。《防衛費だけは大幅増で、他の予算は抑制され、国民の暮らしは押し潰されています。大軍拡・財界・大企業優先をただし、国民本位の政治に。トランプいいなりでなく、自立した外交を》

遠藤れい子の笑顔でファイト

大豆が3分の1あり、いつもより苗が少

連休後半、田んぼは軽トラックで賑わいました。生産組織で共同作業の田植えです。植え終わった苗箱350枚が積み重なる。さあ、私の仕事だ箱洗い。筋肉を使い、明日は腕と腰が痛いかな？とちよつと心配。

田植え終わりました。苗箱洗いは私の仕事



苗箱洗いは私の仕事

ない。米は高騰しても農家にメリットはありません。米作りにもお金がかかります。大豆の輸入が増えれば転作の交付金も減らされるのでしょうか？今の農政が続けば、確実に農家は無くなると思います。作業の合間に家の周りのシャガやベニハナミズキに癒されています